

メッセージ



東京マラソン財団
スポーツレガシー事業運営委員会

委員 為末大
元プロ陸上選手

今回のプログラムを通じて、日本のアスリートが人間的に成長し、引退後も含めその知見を生かしてスポーツだけではなく国際社会でリーダーシップを発揮してくれるはずです。世界に影響を与える次のスポーツリーダーを育てる事が最も重要なレガシーでしょう。アスリートに憧れた子どもたちが、次代のアスリートを目指す、そうしたアスリートを社会全体で支えていく、そんな文化の醸成につなげたいと考えています。

東京マラソン財団 スポーツレガシー事業
東京マラソン2016チャリティ
寄付金及びチャリティランナー募集中!



東京マラソンチャリティで集まった
人々の想いを基盤としながら、
「みんなの手で創り出し、つないでいくレガシー」という
コンセプトを掲げ、「スポーツが後世に残すもの」
つまりスポーツの「レガシー」の創造と継承について、
東京マラソンのミッションとして取り組んでいきます。

東京オリンピック・パラリンピックを機に、
私たちの生活が豊かで
幸せなものになったと実感できるように、
ぜひ引き続きスポーツレガシー事業を応援してください。

東京マラソン2016チャリティ

www.runwithheart.jp/

スポーツレガシー事業

marathon.tokyo/sportslegacy/

SPORTS LEGACY

TOKYO MARATHON FOUNDATION



ごあいさつ

2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催決定を契機に、スポーツそのものが持つ力に対する期待や関心が高まる中、特にオリンピックを単なるスポーツイベントに終わらせることなく、いかに社会に長期的かつポジティブな影響を生み出していくことができるかどうか注目が集まっています。

このような環境下において、東京マラソン財団は、競技スポーツやレクリエーションスポーツといった枠組みを問わず、「スポーツ」が起点となって、21世紀の東京そして日本に、明るい未来につながる「レガシー」を遺していきたい、との想いで「スポーツレガシー事業」を始めました。同事業は、スポーツが後世に遺せるものは何か、について語り合い、実践する場を提供することで、私たちひとりひとりがその本当の価値を理解し、スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現を目指します。

2016大会でもスポーツレガシー事業のチャリティランナー及びサポーターを募集することとなりました。みなさまにおかれましては、明るい未来の創造とともに参画いただき、同事業への継続的なご支援をお願いするとともに、ご家族、ご友人の方々にも共感の輪を広げていただきたくお願い申し上げます。

2015年7月

東京マラソンレースディレクター
スポーツレガシー事業運営委員会
委員長 早野忠昭

東京マラソン財団「スポーツレガシー事業」について

前大会の東京マラソン2015チャリティから、寄付先のひとつとして「スポーツレガシー事業」が加わりました。

東京マラソン財団は4つのテーマを設け、スポーツの夢(強化育成)・スポーツの礎(環境整備)・スポーツの広がり(普及啓発)・スポーツの力(社会貢献)に基づいてスポーツを応援していきます。

スポーツの夢 — 強化育成 —

アスリートの強化、ジュニアアスリート育成、キャリア支援

スポーツの普及とアスリートの発掘・強化を目的としたスポーツ教室、強化トレーニング、また、指導者の養成研修などの支援に役立ちます。



- ▶ ワールドクラスのマラソン大会に参加する日本人選手の活躍を応援していきます。

スポーツの礎 — 環境整備 —

スポーツ施設などの環境整備

ランニングを含むスポーツ全般の普及を目的に、ランニングコースやスポーツ施設などの環境整備に役立ちます。



- ▶ 2013年5月に東京都が開設したシンボルプロムナード公園ランニングコース

スポーツの広がり — 普及啓発 —

スポーツ大会の支援および普及啓発

市民がスポーツに親しみ健康管理を行うといった、各々のライフステージに応じた健康づくりを支援する活動など、生涯スポーツを推進する活動を支援していきます。



- ▶ 本大会の前日には、外国人との交流を目的とした「フレンドシップラン」、当日には親子で楽しみながら走る「ファミリーラン」が行われ、皆さんのライフステージにあったランニングライフを提供しています。

スポーツの力 — 社会貢献 —

スポーツイベントなどを通じた社会的課題解決への試み

スポーツは、困難に直面している人々、若者や子どもたちに勇気・希望、そして夢を与える力を持っています。スポーツイベントなどを通して、社会的課題解決への試みや、日本が元気になる環境づくりなどを支援していきます。



- ▶ 東京マラソン2012寄付金の一部は、右記3大会の運営費などに充てられました。

※写真はイメージです

2015年度活動計画

東京マラソン2015チャリティでは、スポーツレガシー事業に対し、みなさまより多大なご支援をいただき、まことにありがとうございました。2015年度は、寄付金を下記のプログラムに充当させていただきます。

スポーツの夢

若手アスリートの人材育成
寄付先・日本陸上競技連盟

世界を舞台にリーダースHIPを発揮できるアスリートの発掘、育成を支援

- U19、U23オリンピック育成競技者やダイヤモンドアスリートなど、未来のトップアスリートの発掘、育成に寄与します。
- 「ダイヤモンドアスリート認定制度」の対象者に対し、競技力向上だけでなく、豊かな人間性を持つ国際人育成のための個を重視した育成プログラム(ダイヤモンドアスリートプログラム)の中で、リベラルアーツプログラム(教養・キャリア教育)を実施します。

※チャリティランナー及びサポーターのみならずには、日本陸上競技連盟が主催する陸上大会への招待、競技解説や、アスリートと寄付者の交流(兼報告会)などを実施予定です。

スポーツの広がり

障害者スポーツの振興
寄付先・東京都障害者スポーツ協会

障害者スポーツ競技団体等の支援

- 競技団体に助成金を交付し活動を活性化。障害者スポーツの競技人口拡大を図る。
- 東京都障害者スポーツ協会が主催する講習会を通じ、各団体の運営強化を支援する。

※チャリティランナー及びサポーターのみならずには、障害者スポーツ大会を楽しんでいただく機会をご案内する予定です。

スポーツの力

スポーツを軸とした東日本大震災の被災地支援
寄付先・岩手県

岩手国体の財政支援

- 国内最大の総合的なスポーツの祭典であり、開催県の創意と独自性の発揮の場である国民体育大会(国体)を支援します。
- 東日本大震災後初めて東北で開催される国体・全国障害者スポーツ大会「2016希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」への寄付を通じ、大会の盛り上げと、地域の活性化に貢献します。